

# 山行報告書

京都田辺山友会

報告者 広瀬 秀憲

山名	鎧岳・兜岳 縦走		山行名	春の市民登山		
ルート	新宅本店前～鎧岳～兜岳～延命地蔵					
山行日	平成27年4月19日		天候	小雨後曇り		
参加者	リーダー：広瀬 秀憲      サブリーダー：中田 繁男 男性：(会員)五十嵐、中島、村上、小川、上田、植西、藤村、中廣、佐坂、津田、北村、園上 (一般)西川、笹山(こ)、山中、土谷、高谷、山口、田中。古野 女性：(会員)山田、岡本、上田(秀)、大林、平松、五百田、谷川、徳田、上杉、竹原、秋山、 伊藤 (一般)笹山(由)、伊藤、八木、陣野、高野、秋山      合計：40名					
ルート概略図 	コースタイム					
	地名		時：分	地名		時：分
	新宅本店前	集		バス待機	着	15：30
		発	9：35		発	
	鎧岳	着	11：18	近鉄新田辺 駅	着	18：00
		発	12：00		発	
兜岳	着	13：00		着		
	発	13：50		発		
延命地蔵	着	15：15		着		
	発			発		
山行報告 7時近鉄新田辺駅西口公衆トイレ横に集合。6時頃激しい雨が降っていたが、少し小雨となる。朝5時の山の天気予報は夕方5時以降傘マーク、それまでは曇り降水量0mm。7時過ぎに出発。雨は一向にやまない。9時過ぎスタート地点に着き、登山準備、準備体操しているうちに小ぶりとなった。取り付きから急登が続いたが、昨日晴れたためか足元はしっかりしている。30分程登っていると日が差してきたので雨具を片付ける。鎧岳までの坂は急だが足元が安定しているため時間通り11時20分に到着。昼食をとり、集合写真。12時に兜岳に向け出発。すぐに厳しい下りが始まり足元が不安定なため、慎重に進むが次第に隊列が伸びてくる。峰坂峠を過ぎると、ここからは、ロープや木枝をつかんでの登りとなる。息急くしんどいのぼりだが、時たま覗く鎧岳の姿、曾爾高原の景色に見とれ癒された。小ピークを何個か超えてようやく兜岳山頂につく。鎧岳より展望がよい。キツイアップダウンのため体調不良で遅れる者がでる。長めの休憩を取り、再び危険な下りを慎重に下りる。1枚大岩に着き危険箇所を過ぎたことに一安心する。延命地蔵への到着時間は先頭と、最後尾で多少開きましたが、予定時間に無事全員下山。芝生で横たわっている顔によく歩いたという充足感が見られる。今回の登山は一般参加の企画としては厳しいコースでした。会員皆さんの協力と、一般参加者の方の慎重な行動に本当に助けられたと思います。前日が晴れだったことで山の天気予報を信じて決行しましたが、よいほうに転がり、皆さんに満足していただけると良かったです。						
ヒヤリハット なし						

## 一口感想

室生火山群のあたりには何度か行ったことがあったのですが、兜岳・鎧岳に入ったことがなく、一度はおとずれてみたかったので今回このような企画があり参加しました。登り始めは雨が降ってめったに着ることのないカッパを着てのスタート。この先どうなるかなと思いましたが雨もあがり太陽がのぞき願った通り。少し急な所もありましたが楽しく登ることができました。ありがとうございました。また機会があれば参加させていただきます。

山中隆広

雨もあがり楽しい一日でした。距離は長くなかったのですが、アップダウンの厳しいコースで息があがりました。でも自力で行くのが難しい山深い奥地に連れていってもらえて感謝です。

伊藤多恵子

何回も参加させて頂いてますがいつも時間どおりで、皆さんのペースを考えたコース配分にいつもびっくりさせられます。今回も安心して登れました。

秋山香生里

朝から雨に不安がいっぱいでしたが、途中から日差しもあり楽しく登ることが出来ました。でも体力のなさを感じた一日でした。

西川 洋

今までに体験したことのない山登りでした。きつい所もあったけれどとても楽しかったです。次は今日より高い山にチャレンジしたいと思います。班長さんありがとうございました。

笹山こうや(小6)

5年ぶり位の山行で体調不安があった為申し込み最終日である4月3日に申し込みました。定員オーバーで無理かと思いましたが翌日リーダーの広瀬さんから連絡をもらい参加できるのを確認できました。今日の山行はアップダウンが多くて変化にとんでいて楽しかったです。スタッフの皆さま有難うございました。

山口 譲

10年余り前初めて曾爾高原に行ったとき目の前に突然現れた奇怪な姿の山に驚いた。それが鎧岳・兜岳であった。今日はその山に登れて満足です。広瀬さんを始めとする山友会の皆様ありがとうございました。

古野 敏

登り下りが厳しいコースで歩行距離が短いコースは一般参加者にはとても良かったと思います。そして雨が上がったのが今日一番だと思います。本日はありがとうございます。

高谷 芳治



次の会員番号は、200番

津田憲由

晴れ男と雨男が参加。早朝から雨です。天気予報では、この山域での降水確率は、極めて低いとの判断で実行です。幹事の皆さんの判断は吉と出ました。

雨は降りませんでした。晴れ男と雨男は引き分けて、ほっとした山登りでした。

このコースは2山の山姿に似て、距離こそ短いですが、急峻でもあり、危険箇所もありました。降雨であれば、緊張感を強いられる行程です。しかし雨もなく牧歌的な山麓の風景も楽しめました。

14名の一般参加者と聞き、事務局としては張り切らざるを得ません。

『一緒に山に登りませんか?』のチラシを作成して会員のお誘いをしました。

市民登山ですから、このチャンスを逃しては事務局の役割は果たせません。

帰路のバスで勧誘を行いました。200番の記念番号は、だれの者になるかとアプローチしました。二日後に私の携帯に会員になるとの吉報が届きました。

準備した甲斐がありました。

市民登山は、春山・秋山もそれなりの事前準備が大変です。

幹事さんそして山行部の皆様、お疲れ様でした。そして有り難う御座いました。

市民登山に参加して

平松多希子

鎧岳・兜岳はアップダウンの急登と急下の厳しいコースですが、何度か行ったこともあり数年前の例会山行では、兜岳・鎧岳そして曽爾少年自然の家に宿泊。両頂上には北川さんの素敵な絵が描かれた山友会のネームプレートを取り付けた思い出がなつかしく参加しました。

心配だった雨も予報通り回復に向かい、新田辺を出発。救急担当ということでバスの中で救急セットを受け取りました。ザックを少しでも軽くしようとテルモスなどあまり必要としないものはバスに残しました。新宅本店前でバスを降りると目の前に鎧岳が。おてやわらかに！！

この辺はまだ桜が咲いていて優しく出迎えてくれました。小雨が降っていましたが、支度を整え準備体操をして出発。林道からジグザグに急斜面を上ります。暫くすると雨もあがり、あまりの暑さに衣服調整をしてスッキリ。雨が降っていたのに道は思ったより乾いて本当によかった。自然林の尾根道へと汗びっしょりになりながらもメンバーに励まされながら鎧岳の山頂に立ちました。

「なんか顔が赤いよ」「汗をかいたからかなあー、大丈夫?」そんな会話に私のようなものにも気にかけていただけるなんて嬉しいなあと思いつつ和やかな楽しい食事をとりました。そして記念撮影。どの顔も笑顔で兜岳へと出発。尾根筋から急な下りになり峰坂峠へ。ここから急登になるので水分を取って小休止。あえぎあえぎの急登に汗びっしょりです。眼下には山麓の集落が望め心が和みました。さらに急登が続きぽっかり鎧岳が見えました。一瞬ムカーツ！！私なりに踏ん張っていたものが消え、情けない甘えが出てしまいました。少し休んで歩き出すと思ったより早くに兜岳山頂に。みなさんが待っていてくださり2回目の記念撮影。班に戻ろうと思っていましたが、急な下りで私がころげない様にとサポートしていただき無事下山することができました。足が止まってしまった時に、大丈夫とお茶をいただいたり、又ジーッと手をつかんで励まして頂いたり、心がジーンとしました。

トレーニング不足によるスタミナ切れ。本当に初歩的な事にもかかわらず皆様にはご心配・ご迷惑をかけ申し訳ありませんでした。サポート隊の皆様には大変お世話になりありがとうございます。心よりお礼申し上げます。

二度とこのようなことにならないよう自主トレに心掛けたいと思っています。



**春の市民登山アンケート**

	一般参加者	会員
①今回の鎧岳・兜岳縦走に対して		
1、厳しい		3名
2、丁度いい	13名	19名
②春の市民登山の募集を何で知りましたか。		
1、市の広報	3名	1名
2、ポスター	2名	
3、知人からの情報・勧誘	6名	
4、山友会のHP・会誌	1名	21名
5、その他	1名	(園上さんから紹介)
③費用面でどうでしたか		
1、高い	2名	3名
2、適当	11名	19名
④今回の登山で山友会のメンバーの対応について		
1、問題があった		
2、普通	2名	12名
3、よかった	11名	10名
⑤次回の春の市民登山に希望される山があれば記入してください。(日帰り)		
(一般) 金剛山、荒島岳、比良山系縦走、冠山、比良山、伊吹山、屏風岩、西大台		
(会員) 伊吹山、福井方面、近江富士、		